

NPO 法人

甲子園浜

# 海浜の自然環境を守る会ニュース

第66号 2021年3月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

## 甲子園浜から見る新型コロナウイルス感染症拡大

この一年以上を私たちは新型コロナウイルス感染症拡大の中で暮らしてきました。改めて甲子園浜ではどうだったのか時系列で振り返りたいと思います。

2020年1月16日、国内で初めての感染者が確認されました。まだ限られた地域の出来事のように、2月8日にはいつも通りの冬の鳥観察会を行いました。

3月1日西宮市での初めての感染者は兵庫県初でした。3日には西宮市小中高が休校になり、甲子園浜自然環境センターも休館は5月末までとなりました。11日甲子園球場での選抜高校野球中止決定。24日東京オリンピック延期が決定。そのような中、感染防止対策をとりながら3月29日海浜清掃を実施しました。

4月7日緊急事態宣言が、東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡に出されました。このころはマスク、消毒用アルコール、果てはトイレトペーパーまで不足し、人々がスーパーをはしごする騒ぎでした。

5月6日に予定をしていた通常総会とシギ・チドリ観察会は中止せざるをえませんでした。会員のみなさまに議案書と理事改選の表決書をお送りし、みなし総会

としました。100%に近い返送と激励をいただき感激いたしました。

甲子園浜は緊急事態宣言で不要不急の外出が制限さ

れている際にも、のびのびした豊かな自然をひとつひとつが欲したのでしょうか、解放感を求める大勢の家族づれで普段よりも混雑しました。

甲子園浜と運動公園への人出の多さに比例して、大量のゴミが残されるようになり、西宮市委託の遊歩道



利用制限された公園の遊具

ゴミの収集業者は、通常週2回の収集を毎日早朝に行うようになり、その表情も緊張感に満ちていました。

5月22日兵庫県の緊急事態宣言が解除されました。

7月5日の甲子園浜遺跡探検を、人数を制限して実施。19日の海浜清掃は、対岸のサーファーと合わせて180名、580kgをヤマサ環境エンジニアリングさんが収集してくださいました。ヤマサさんも感染者を出さまいと接触を避けて、それでもいつも収集に来てくださいました。20日、21日、一般募集はせずに大阪湾生き物一斉調査を実施。22日、再生干潟に生き物の住処を作る活動を、やはり人数を制限して実施しました。

8月22日夜の甲子園浜観察会。9月13日海浜清掃。このころはコロナ感染が落ち着いてきていました。

しかし11月頃より新規感染者数が連日最多を更新するようになり、1月13日大阪・兵庫・京都に緊急事態宣言が再び出されました。2月2日緊急事態宣言を3月7日まで延長。2月6日冬の鳥観察会を全行程野外で実施。2月17日新型コロナワクチンの接種が医療従事者から始まりました。緊急事態宣言を2月末で解除。

世界が新型コロナウイルス感染の脅威にさらされていると言える状況のなか、環境保全の活動は、より慎重に地に足をつけて、それでもとどまることなく続けていかななくてはなりません。



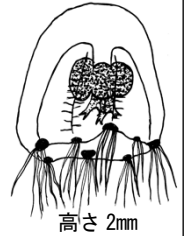
連休の甲子園浜

## ♪ いいもの見つけ ♪

## シミコクラゲ



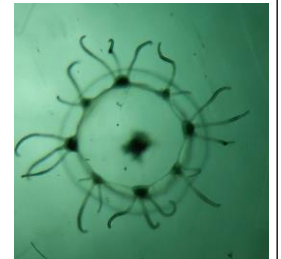
1月28日午前11時、阪口先生といつもの海水調査に出かけた。採集地の気温は10.4℃、海水温度は10.5℃。波は穏やかで海水を凝視するがクラゲは見えない。調査作業では10Lバケツで海水を汲み、プランクトンネットに注ぐこと10回。すると3~5mmくらいのシミコクラゲやコペポダ（ケンミジンコなどの動物プランクトン）がたくさん採集された。



小さいけれど、虫眼鏡で見るとシミコクラゲは、釣鐘のような形で傘には8つの茶褐色の眼点があり、それぞれ数本の触手が出ている。小さいだけでなく、おもしろいことにシミコクラゲは子どもを産むのです。コップで飼育しているとクラゲの傘の中に小さなクラゲが入り込んでいるのを見ることができます。傘の内側中心の口柄の横から芽が出る（出芽）ように子どものクラゲが生まれ体外に放出されます。



子どもが生まれた



上から見たシミコクラゲ

よく目にするミズクラゲは、受精卵からプラナラ幼生に、付着してポリプ、成長してストロビラ、それから分離してエフィラになりミズクラゲへと成長する。繁殖の仕方が全く違うことを知ったのでした。シミコクラゲは早春限定。4月には、日本特産カミクラゲが渚にプカプカ。散歩で見つけないか。 向山裕子

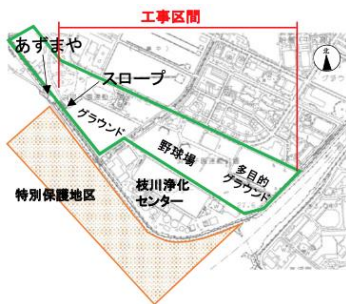
## 活動報告

2月6日 冬の鳥観察会 43名  
水田先生による植物同定会

## 活動予定

3月28日（日） 海浜清掃  
5月9日（日） シギ・チドリ観察会

## ⚠️ 鳴尾地区 高潮対策工事で護岸のかさ上げ工事が行われます ⚠️



2018年台風21号と同様の高潮・高波に対して、浸水被害を生じさせないようにするため、既設護岸の天端を約1.0~1.2mかさ上げします。

波圧に対する護岸の安定性確保及び遊歩道からの海（鳥獣保護区・特別保護地区）への眺望に配慮するため、遊歩道を盛土によりかさ上げします。

浜甲子園運動公園スロープ付近から枝川浄化センターまでの範囲が対象です。その先浜甲子園運動公園（野球場・多目的グラウンド）前について

は、既設護岸の天端を約1.1~1.7mかさ上げし、護岸の安定性確保のため、既設護岸の陸側をコンクリートで増厚します。工事予定は2021年3月末から2022年3月末までですが、鳥獣保護区に配慮し、4~5月は大きな騒音が発生する作業はありません。工事期間中、遊歩道は通行止めとなります。ご注意ください。

